

かもがわ 議会だより

平成25年(2013年)

8月15日

第34号

発行 鴨川市議会報編集委員会

〒296-8601 鴨川市横渚1450番地 電話04(7093)7825

ホームページアドレス

<http://www.city.kamogawa.lg.jp/JP/0009/0091/>



レイクショア・ウィンドアンサンブル・ジョイントコンサート

姉妹都市提携 20 周年記念としてレイクショア・ウィンドアンサンブルを迎え、鴨川少年少女合唱団とジョイントコンサートが行われました。

第2回定例会の会期日程

月 日	日 程
6月3日(月)	開会。会議録署名議員の指名。会期の決定。諸般の報告。市長の施政方針並びに議案等の上程・説明。陳情の上程・常任委員会付託
6月6日(木)	行政一般質問
6月7日(金)	行政一般質問
6月10日(月)	議案等に対する質疑・常任委員会付託
6月11日(火)	予算常任委員会
6月12日(水)	総務常任委員会
6月13日(木)	建設経済常任委員会
6月14日(金)	文教厚生常任委員会
6月21日(金)	常任委員長報告。報告者に対する質疑。議案の討論・採決。発議案の上程・説明・質疑・討論・採決。閉会

第2回定例会の主な内容

- 議案質疑…………… 2
- 常任委員会の審査内容…………… 4
- 一般質問…………… 6
- 議決結果…………… 13

第2回臨時会

- 議決結果…………… 5

平成25年度一般会計予算など13議案を可決

6月定例会

平成25年第2回定例会は、6月3日から21日までの19日間の会期で開かれました。

この定例会で市長から提出された議案と追加提出した発議案は、いずれも原案のとおり可決されました。

6月6日、7日には7名の議員が登壇し、市政全般に関する一般質問を行いました。6月10日には、佐藤拓郎議員、久保忠一議員、滝口久夫議員、鈴木美一議員、大和田悟史議員、尾形喜啓議員、平松健治議員が議案に対する質疑を行いました。

議案に対する質疑

◎議案第31号 鴨川市市長等及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の制定について

国家公務員の給与の減額措置を踏まえ、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間における特別職及び職員の給与の支給額を減額するための条例を制定するもの。

【主な質疑】

問 国を100とした本市のラスパイレース指数は。また、7月～3月の減額

分はいくらか。

答 現在、109.1となっており、議案が可決されますと、100.6と試算しています。9カ月の減額の総額は1億2千700万円と見込んでいます。

問 給与費削減分の交付税が減額されているが、その削減額は。逆に事業費としてプラスされる額は。

答 県の試算ですが、人件費の削減分で約7千500万円減額され、元気づくり推進費として約2千600万円がプラスされるとのことです。

◎議案第38号 工事請負

契約の締結について

長狭学園屋内運動場改築のための工事請負契約を締結するもの。

【主な質疑】

問 今回の改築工事について、市内の業者に限定した理由は。

答 市内の建設業者で十分施工が可能であるという判断のもと、制限付きの一般競争入札を行いました。

問 鴨川市建設工事等指名選定基準に基づいて間違いないと自信があるか。

答 そのとおりです。

動議 2月12日の予算常

任委員会での一委員の発言に関連し、本議案の入札結果は不可解として特別委員会設置の動議が出されましたが、賛成少数でその動議は否決されました。

◎議案第40号 平成25年度鴨川市一般会計補正予算(第2号)

歳入・歳出それぞれ5億7千244万5千円を追加するもの。

【主な質疑】

問 清澄・四方木地区活性化基礎調査により期待する効果は。

答 高齢化率の高いこの集落の活性化方策の指針となる基本構想を取りまとめ、定住人口、交流人口の増加に期待するものです。

問 浄化槽清掃委託の予算総額と委託基数は。

答 予算総額は約570万円、基数は60基です。

問 地域ケア会議活用推進等事業の目的と具体的な取り組みは。

答 高齢者等に対し、医療、介護、予防生活支援サ

ビス等が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進していくため、地域包括支援センターで行う地域ケア会議の普及と定着を図ることが目的です。

また、具体的な取り組みは、地域ケアマニュアルの作成、他職種連携セミナーの開催、見守りの体制づくり、交流の場としてのサロンの立ち上げ、生活介護支援サポーターの育成等です。

問 庁舎の大規模改修費が3億2千万円増額した理由と事業が1年延長された理由は。

答 当初鉄骨ブレースのみで考えていましたが、PCAアウトフリュームという工法と共に補強すること、ガラス張の部分の改修費等で3億円余りが追加となりました。設計を進めていくにつれ、1年での完成は難しい事が明らかになり事業費を平成25年度と平成26年度の2カ年で実施することとしました。

討論

◎議案第31号 鴨川市長等及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の制定について

反対討論

政府の理不尽な要請と一方的な交付税減額は、地方自治を踏みにじる違憲、違法なものです。懲戒処分には敵する賃金削減が、職員にやる気に影響しないわけはありません。

また、我々判断を下す者が身を削ってこそ賛成できるものであります。

(滝口久夫議員)

地方交付税減額という脅しを盾に削減を迫る国の乱暴なやり方は、あってはなりません。

現政権は景気回復に向け、経済界に賃上げを要請しているのに対し、地方公

務員に対しては給与を下げるというのは、政策の整合性がとれない愚策としか言いようがありません。

(佐藤拓郎議員)

賛成討論

地方公務員だけが優遇されるのはおかしく、当然に協力を求めるべきだと思います。鴨川市は、今まで給与を県に準じ改定をしてきましたが、その県は、6月議会でも同引下げに、県議会議員を含め可決しています。

本市の議員報酬の引下げも検討すべきです。これらの経緯を尊重し、本案に賛成します。

(平松健治議員)

防災・減災事業や地域経済の活性化に取り組むという趣旨は理解できるものであり、事情を総合的に勘案しますと国のやり方には疑問を抱いていますが、やむを得ない措置であると判断します。

(吉田裕迪議員)

◎議案第38号 工事請負契約の締結について

反対討論

市民からは明らかに談合の疑いがあると、多く寄せられています。

よって、業者からの請託また官製談合の疑いがあります。今ここで歯止めをかけなければ、再び同様な事件が発生することになります。

(滝口久夫議員)

賛成討論

一日も早く子どもたちのため、また地域のため、すばらしい体育館をつくり、長狭地区の小中一貫校にすばらしい教育ができる環境をつくっていただきたいと思えます。

(渡辺訓秀議員)



◎議案第40号 平成25年度鴨川市一般会計補正予算(第2号)

反対討論

庁舎耐震及び改修工事による市の独自負担が、1億7千万円も増えます。計画が甘く、急ぐとしていた事業が1年延びます。

このことは、事業費が消費税増税と震災復興需要に、今後大きく影響を受けることとなります。市の損失も大きくなるでしょう。これらの点を指摘します。

(平松健治議員)

地方公務員給与削減要請に反対する決議に賛成したいと言った市長が、なぜ市の職員の給与削減する予算案を提出したのか非常に矛盾を感じます。

よって、このような自分の言っていることとやっていることが、一致しないような政策について認めることはできません。

(飯田哲夫議員)

◎陳情第23号 「国における平成26(2014)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書

反対討論

高校授業料実質無償化の現行制度を堅持するということが挙げられています。高校は義務教育ではないことや、平等を装っていますが払える能力のある家庭も無償化にするという、平等というよりは悪平等の制度であると考えてます。

(辰野利文議員)

賛成討論

高校授業料無償化で経済事情による中退が減っているのも事実であり、格差社会が広がる中で機会の平等を国が保障することは、決して社会主義的な政策とまでは言えず妥当なものと考えます。

(久保忠一議員)

常任委員会の 審査内容

各常任委員会に付託された議案等の審査内容の主なものを掲載します。議案等の名称については、13ページをご覧ください。

予算常任委員会

◎議案第40号

問 浄化槽清掃委託料の863万7千円を分割発注する際、金額の小さいものも入札を行うのか。

答 50万円が基準となり、50万円を超えた場合は入札で行います。

問 庁舎の耐震大規模改修工事を合併特例債に切り替えてできないのか。

答 合併前に策定した新市まちづくり計画に載っており、現況では活用できないと考えます。

問 林道整備工事249万9千円の工事内容は。

答 昨年度から平成28年度までの5カ年計画で実施している林道嶺岡中央2号線側溝整備工事です。今年度は、貝渚八岡地区付近を予定しています。

問 小学校費設計委託料2千919万円の改修内容は。

答 旧江見中学校施設の耐震補強工事と経年劣化している屋上防水、外壁の部分補修と旧中学校施設を小学生が使用するための改修工事等です。

問 小学校費設計委託料について施工条件の制約は。できるだけ網羅し迅速に問題を片づけ、入札者が必要しないと思うが。

答 工事の遅れや追加工事等がないよう準備します。

問 子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料の内容について。

答 昨年8月に成立した

総務常任委員会

◎議案第31号

問 地方交付税が1億100万円削減されるのに対し、市は給与を総額1億2千700万円削減することであるが、なぜ国の削減額以上に鴨川市は削減するのか。

答 ラスパイレス指数を100に近づけるよう削減率の決定をしたところ、結果として地方交付税を算定するうえで、基準財政需要額における、給与削減影響額の試算値を上回りました。

問 職員組合に減額の理由をどう提示したのか。

答 総務大臣から地方公務員の給与について地方公共団体において自主的かつ適切に対応を要請するという旨の文書を受け、本市で

もさまざまな議論をした結果、今般の削減に至りました。

問 職員組合については、快くこの提案に賛同したというわけではないように感じられるが、どちらかと言うと押し付けたような感じなのか。

答 決して押し付けたというわけではないと思っております。快くということも若干難しいが、最終的には了解したという形で議案を提出させていただきました。

反対討論

公務員の給与は人事院が勧告して決めるということが定着してきました。災害に金が必要だから、公務員の給料を減らして出すということは論外です。しかも、国家公務員の給与を下げたからラスパイレス指数を合わせるために地方公務員も下げるとい

のは、まったく根拠がありません。賃金の決定ルールである人事院勧告を無視した格好で、財源を絞れば、

給与が地方まで決まっていなくということを前例にするべきではないと思います。

建設経済常任委員会

◎議案第39号

問 今後の市道工事のスケジュールは。

答 今年度、用地買収、物件補償、調査測量を行い、貝渚橋の工事は平成29年度の完成を予定、市道全体では、平成32年度の完了予定です。事業費は、約11億円を見込んでいます。

問 貝渚橋の工事に際し、交通量も多い状況の中、どのような対策をとっているのか。

答 工事に際しては、現在の貝渚橋を残しながら、その上流側に新しい橋や、作業用の橋をつくり工事を進め、現道の通行に障害のないよう対策をとりま

す。
問 新設市道の整備に伴い、老朽化した上下水道など、インフラの整備についてどのように考えているの

か。

答 上水道については、ほ場整備に絡んで、既存の集落への給水経路が変わってきますので、支障のないように整備します。

問 下水道の整備計画についてはどうか。

答 国道128号沿いの排水整備の要望を伺っていますので、今後のほ場整備事業設計等の中で、調整を図っていきます。

現地視察（仮称）市道員渚大里線の工事予定箇所を市長及び担当課長等の参加を得て実施しました。

文教厚生常任委員会

◎議案第38号

問 長狭学園の屋内運動場の玄関は、どちら側に設置されるのか。

答 ピロティ側につけます。

問 2階部分はどうなるのか。

答 屋内運動場の構造は平屋建てですが、管理用通路のキャットウォークを設

置します。メインアリーナでは2、3階部分、サブアリーナでは2階部分になります。

問 現在のキャットウォークは手すり部分が非常に弱く、寄りかかると危ないので、2階部分で見学をしていないと思うが、今回の設計では見学席になるのか。

答 キャットウォークは、幅が1m程度の管理用通路でギャラリイ対応にはなっていないです。

問 電灯が切れた場合に足場をくみ上げると非常に費用がかかるが、どのような方法で交換するのか。

答 照明はLED照明を設置する予定となっています。LEDは長寿命で10年以上もつと言われており、交換する頻度は非常に少ないと思っています。

◎陳情第22号

反対討論

陳情の中に、現行の高校授業料実質無償化制度を堅持する事が含まれています。これはバ

ラマキ以外の何物でもありません。高校は義務教育ではなく、親が負担する事が原則であると思います。ここに税金を投入するという事はいかなるものでしょうか。経済的な理由で学校に行けなくなる場合は、他の制度でも救う方法があるのではないのでしょうか。また、すべての生徒が税金で高校に通うというのは、資本主義の中でいかなるものかと思えます。

第2回臨時会

平成25年第2回臨時会が、平成25年4月23日・24日の2日間開催されました。

今回は専決処分の承認3件、補正予算1件が提出され、原案のとおり承認・可決されました。

臨時会議案議決結果

【市長提出議案】

議案番号	件名	付託先	委員会の結果	本会議の結果
議案第27号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度鴨川市一般会計補正予算（第7号））	付託省略		承認多数
議案第28号	専決処分の承認を求めることについて（鴨川市税条例の一部を改正する条例）	付託省略		全会一致
議案第29号	専決処分の承認を求めることについて（鴨川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	付託省略		全会一致
議案第30号	平成25年度鴨川市一般会計補正予算（第1号）	付託省略		可決全会一致

賛否の公表

上表の議案等（全会一致のものを除く）について、議員別に賛否を公表します。○…賛成 ×…反対 欠…欠席

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	議決年月日	結果	賛成	反対
	滝原秀和	刈込信道	久保忠一	脇坂保雄	庄司朋代	吉田裕迪	佐藤拓郎	平松健治	鈴木美一	佐藤文秋	野村静雄	尾形喜啓	滝口久夫	渡辺訓秀	渡邊隆俊	辰野利文	飯田哲夫	谷一浩	大和田悟史	西川和広				
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	25.4.24	原案承認	18	1

※議長（野村静雄）は採決に加わりません。



市政を蝕む市民
ゴルフ大会について

問 これまでゴルフ場を舞台に社会的な問題、接待ゴルフや密談等が行われてきた。市の当初予算の歳入部分でゴルフ場利用税交付金として約2千万円が計上されているが、鴨川カントリークラブの地元雇用は約40人、市の当初予算のゴルフ場利用税交付金は、平成23年度が2千300万円、24年度が2千100万円、25年度が2千66万4千円、この3年間で交付金が約233万6千円減となり、入場者数が5千人減、これは市の財源が失われた事になる。要因の一部は、過去、市民ゴルフ大会が

要綱に沿って市内で春と夏に2回、これまで連続して10回開催されていたが、不当にも11回と13回は勝浦市のゴルフ場に移して開催された。11回が平成24年3月21日、参加者152人、13回が平成25年1月23日、参加者143人となっている。2日とも市職員4名が旅行命令により大会へ派遣されており、大会前の準備にも市職員が2名、計8時間の残業として係わっている。勝浦市にはゴルフ場利用税交付金、ゴルフ場営業収入が2回で約3百万円近い収益が見込まれるが、当市には一切収入がない。11回、13回大会の収支決算書によると次回大会への繰越金となっており、すでに鴨川市、勝浦市のゴルフ大会が連続決算であり、この事は市民ゴルフ大会は制度化され、このように市政が

蝕^{むしは}まれていく。これらの事から、地方公務員法、また鴨川市職員服務規程、鴨川市民ゴルフ大会設置要綱等に違反していると思われるが、勝浦市でのゴルフ大会はこれまで通り実施していくのか。税金の無駄遣い、市に被害を与えた事についてどのように考えているのか伺う。

勝浦ゴルフ倶楽部と当市の大型ホテルの経営者は同一の経営者で、過去に水道、ゴミ問題で2002年に議会でも問いただしている。水道問題では、ホテルは毎年水道料金に換算して約3千万円の水を利用する約束で奥谷第二ダムの計画は実行され完成したが、実際は1千万円前後の利用で、その他は市が便



鴨川カントリークラブ

宜を図ってきた。ゴミの問題は、年間約4千トンを一家庭と同じ3万6千円で便宜を図ってきた経緯がある。

勝浦ゴルフ倶楽部の関係者が今年度鴨川市民ゴルフ大会実行委員会の副委員長に選任されたが、鴨川市民ゴルフ大会実行委員会は、市職員を使って勝浦市のために貢献する会であって市長のまちづくりと矛盾するもので、鴨川市民ゴルフ大会実行委員会を企画、立案、運営、事務局を市役所スポーツ振興課内に置き、市長は実行委員会に対し何ら権限を有していない。会長は市長をもって充てるとある。以上の事を踏まえてあらためて、市長の答弁を求める。

答 あえて、滝口議員に申し上げます。常識ある判断を実行委員会ではできません。仮にそうでなければ会長として発言し、要綱について不備な点を整備するよう指示していきます。

鴨川市民ゴルフ大会実行委員会の設置運営要綱の目的、第2条「市民参加による市民相互の親睦、産業の振興発展を図り市民生活の向上に寄与する。」とあるが、この要綱には市内のゴルフ場の利用という文言が抜けています。不備な点を整備し、産業振興の発展に寄与していただきたいと思います。

一般質問②

佐藤 拓郎 議員



観光情報誌「るるる」鴨川の発行を検討しては

問 今、全国でJTBの観光情報誌るるるの特別編集版として、独自の観光情報を発信している自治体が数多く存在している。

地域の観光名所や食事処、また、名産品のお土産等、観光情報を掲載した特別編集の情報誌を無料で発行している。貴重な観光資源を有しながら、これまで埋もれがちだった鴨川市の観光客誘致を図るとともに、住民が自分たちのまちに誇りを持ち、魅力の再発見ができるツールとして役立てばと考えている。

今後の重複するパンフレット作成事業費を削り、鴨川市の総合情報誌としてるるる鴨川を検討してみてもいい。

答 現段階では、従来の形でのパンフレットを活用し、さらなる観光宣伝の充実に努めてまいります。



期日前投票の簡素化と投票所の環境改善について

問 現在、期日前投票では、投票所入場前に宣誓書用紙に氏名、生年月日、住所、日付を記入し、期日前投票事由ということ

で投票日に行けない理由を項目に目を通し、チェックしてから係に渡さなければ入場することができない。

期日前投票になれていない有権者の中には、宣誓書用紙の記入に違和感を感じる方や戸惑う方、記入待ちに立往生する姿を見かけたことがある。

今、先進地の自治体では、この宣誓書を投票所入場券の裏面に刷り込み、期日前投票をする方は、事前に自宅の落ち着いた環境で記入することで、期日前投票所の受け付けがスムーズになると思う。現行方式から先進地の方法に変更した場合、どのくらいの経費がかさむのか。

答 現在、本市の投票所入場券は、はがき1枚に対し3名までの有権者名を印刷し、入場券の印刷代がおおよそ9万3千円で、郵送代がおおよそ85万円かかっています。

これを、入場券の裏面に宣誓書を印刷するとした場合、スペースの都合上、有権者1名に対し1枚の入場券はがきを使用することとなり、それにかかる経費として、印刷代がおおよそ16万円、郵送代がおおよそ150万円になるものと推計しています。

経費の増額分としては、入場券の印刷レイアウトが変更となりますことから、そのための電算プログラムの変更費用としておおよそ50万円が別途かかる

ことが想定されます。それらを合計しますとおおよそ121万7千円の経費増加が見込まれます。

しかしながら、投票所入場券に宣誓書を併せて印刷することにより、事前にご記入いただくことで、有権者の利便性の向上や心理的負担の軽減、期日前投票所での混雑の緩和など投票環境の改善につながり、投票率の向上にも期待できることから、実施する方向で検討してまいります。

投票区	ページ	名簿番号	抄本表示	期日前投票事由	知事	整理番号
			済	1 2 3 5		

宣誓書	
氏名	生年月日 明大高平 生
現住所	
選挙人名簿に記載されている住所	※種類別所と異なる場合のみ記載すること
私は、平成25年3月17日執行 千葉県知事選挙の当日、次の事由に該当する見込みであり、以下は真実であることを誓います。 平成 25 年 月 日	
期日前投票事由 (次の1、2、3、5のいずれかに○を付けてください。)	
1 仕事等による場合	右のアからオのいずれかに○を付けてください。オの場合は用書を具体的に記載してください。
2 旅行等による場合	右のア又はイのいずれかに○を付けてください。イの場合は外出・旅行・滞在する地名・場所を具体的に記載してください。
3 病気等による場合	右のア又はイのいずれかに○を付けてください。
5 住所移動による場合	住所移動のため、本市市区町村以外に居住

※期日前投票事由2については、選挙人名簿に記載されている住所の属する投票区の区域外に外出・旅行・滞在することを要します。

現在使用されている宣誓書



人口減少対策について

問 少子化対策としての結婚支援・子育て支援について、市の事業として継続的に取り組むのかを伺う。

答 これまでの本市の取り組みは、引き続き実施してまいります。結婚支援の取り組みについては、極めて重要課題として認識し、今年度中に実証的に実施します。

現在、その時期や方法について検討してまいります。気軽に参加できる雰囲気づくりと、地域特性を生かした「鴨川ならではの」の取り組みをします。その過程において、推進団体の組織化についても検討します。

子育て支援策についても積極的な事業展開を図ります。子育て支援センターの活動や預かり保育、延長保育、第3子以降への出産祝い金支給など、これまでの取り組みに加えて、「子ども・子育て支援事業計画」の策定にも着手します。

提言 結婚相談員の意見を反映させる施策を考慮するように提言する。

問 定住移住者対策の進捗状況について伺う。

答 「ふるさと回帰支援センター」(自然回帰、定年帰農およびUJイターン促進拠点施設)では、移住情報提供、空き家・空き地見学会、帰農者セミナー、農家民泊の推進など多様な定住支援を実施してきました。平成24年度の移住者は33件66名、2地域居住者は5件12名です。

「マイホーム心配り事

業」では、13件の転入者の住宅取得支援をしました。

問 「マイホーム心配り事業」は、本年度で終了するのか。

答 終了の予定ですが、申し込み件数が増えており、事業の継続を望む声も多いことから、継続するように検討します。

問 定住移住者対策の今後の施策について伺う。

答 健康長寿を志向する中高年層を積極的に受け入れる新たなまちづくりとしての「プラチナタワー構想」の推進について、本市の特殊性と優位性を活かし、今後、調査・研究をしていきます。

問 子育て支援について、さらなる推進に対する市長としての考えを伺う。

答 いい子育て支援・教育環境により必ず人が集まるといふ思いから、地方版の「子ども・子育て会議」などを視野に入れ

て支援策を考えます。

問 シーフエスタのフラフェスティバルは、来秀に移住定住している南崎夫妻が準備・運営に大きく貢献して、鴨川のフラダンスとして脚光を浴びている。このほかにも優れた能力や知恵を持つ移住定住者がいると思うが、このような方々を活かした施策を取り入れたらどうか。

答 移住定住者の市政への積極的な参画および移住定住者対象の懇談会開催などを検討します。



シーフェスタのフラフェスティバル

産業振興対策について

問 前原海岸・マリーナ周辺の活性化に関して、城西国際大学観光学部との連携による朝市など地域活性化策について伺う。

答 朝市は、来場者の減少などの問題で中止になりました。今後、城西国際大学には、本市でのイベントや行事など各種施策の活性化の一翼を担っていただくことを期待しています。また、大学側との明確な連携体制を構築する協定を締結し、活性化に資する施策の展開を図ります。

提言 駅前通り商店街の活性化については、本市にとって大きな課題であり、長期的展望で対策を講じる必要がある。また、海岸地域に大勢の人が集まっている時、津波に襲われた場合に安全避難できる対策を早急に考えておくべきである。



鴨川市の地域の牽引役は何だと思われるか

問 市長の施政方針では、全体がイメージし難い。鴨川全体の牽引役となる具体的なウリモノがあるべきだと考える。一例として、嶺岡の牧は、一戦場公園から南房総市酪農の里のあたりまでおよぶ。このような野馬土手が30kmにも渡って残っているところは全国にも例がない。鎌ヶ谷市では、わずか127mの土手を含むエリアだけが国史跡である。鴨川は早急に南房総市と連携をはかり、指定を求める考えはあるのか。近隣市と連携した産業振興は、広域振興施策としてモデルケースにも

なり得る。文化財と自然散策は鴨川のウリモノになると思う。

答 鴨川市の強みは、気候が温暖で自然環境が豊か、良質な農林水産物、交流に有利な立地条件、医療教育施設の充実、特徴ある教育の展開などで、一つだけということではありません。一方、弱みは道路アクセスが不十分、少子高齢化、人材減、第一次産業の後継者不足、食材などの鴨川らしさの不足、また、多様なツーリズムニーズに応えられる地域資源がありながら、その掘り起こしが不十分です。弱みを改善、解決し、強みの進展を図る必要があります。嶺岡牧は保存し、後世に引き継ぎます。その遺構はちば遺産百選にも選定されました。本市は周知や活用方策の検討を重ね、3年間の調査により、改めて千葉県の周

知の埋蔵文化財包蔵地として決定されました。今年度は読本用の電子データを作成します。広域にわたり私権を制限する史跡指定には慎重を期すべきですが、本市から南房総市に声がけをして、新たな事業展開の可能性や方向性について、検討のテーブルにのせたいと思います。

問 私有地の課題は、特に慎重かつ決意をもって、進めていただきたい。文化はまちづくりの核となる。勝浦市のひな祭りとかツオ、館山市の里見氏と八犬伝などは、テーマ、つまりウリモノの顔がはつきりしている。鴨川は嶺岡牧以外にも、波の伊八の生誕地で作品も多く存在する。文化財をテーマとするまちづくりをどう考えるか。いすみ市は地域のプロモーション室を設け、「波の伊八伝」というパンフレットを作り、経済活動に発展させてい

る。鴨川で配られるパンフレットは鴨川市商工会伊八プロジェクト、一般社団法人波の伊八まちづくり塾が文化庁の後援で作成したもののだが、この姿勢の違いをどう考えるか。漁業協同組合や商工会など市民が努力している部分をくみ取り、市としての協力体制について検討しているか。

答 史跡文化財は守っていきます。先人の努力を継承し、子どもや若者が人づくりの一環として勉強できるといいと思います。観光に活かすため、嶺岡牧については、城西国際大学と市が一緒に、林道整備や遺跡散策コース検討をしています。基本的には民間と行政、一緒に作った形でまちづくりを進めていきたいと思います。

市民と一緒に考える姿勢は大事だが、スピード感を持って取り組めるか

問 市長の大きな仕事の

一つにマスタープラン策定がある。市民と一緒に考える手法は、インターネット活用は。

答 市長への手紙や市のホームページ以外に、個人のホームページも立ち上げ、ブログ、フェイスブックも活用しています。大事なのは財政的な裏付けであり、例として市民会館、病院等も、つくる、つくらないということと、それに付随する周囲の状況も見て、総合的に決めていきたいと思えます。

問 庁内会議は常時開催できるが、市民による諮問機関はそれほど頻繁に招集をかけられない。そこで、庁内の若手職員を中心とする官・民・学が融合する特別チームを設ける考えはないか。

答 課をまたいで検討するチームをつくり、地域の各種団体と結びついて、政策が官民一体でできる組織は私の理想です。今後、研究します。



社会資本整備総合交付金等を利用した今後の狭隘道路整備と今後の市道整備について

問 現政権は、事前防災、減災のための国土強靱化の推進の中で、インフラ再構築を挙げているが、今後市が使える国からの交付金などにどう反映されていくのか。

答 現在までの事業としては、トンネルや道路照明などの施設総点検や市道の舗装修繕などで5千850万円を計上し、これに対し約3千万円の交付金を見込んでいます。今年も1億600万円の補正予算を提出しており、これに対する交付金は5千700万円になります。

問 防災上の安心安全のための狭隘道路整備を市としてどう取り組んでいくのか。

答 幅員1・8m未満の建築基準法に適合しない道路も多く、建て替えの際に2・7mとする独自の要綱を設けています。

問 社会資本整備総合交付金の申請限度額はあるのか。補助率と市債発行をした場合の後年度交付税措置率は。

答 申請限度額はありません。補助率は55%で、残りの分を市債発行する場合、後年度交付税措置が20%となり、約3分の1が市の一般財源となります。

問 今後さらに同交付金を活用して市道の新設、改築、修繕等に関する事業に取り組むつもりはありますか。

答 市道新設整備等での同交付金の対象は、最低

4m以上の幅員にする場合であり、適合しない場合も多いと思われます。

問 基盤未整備地域の減災のための条例を作り、応急対策等を円滑に確保するために緊急車両の進入が不可能な道路を拡幅できるように対応すべきだが。

答 本市においても今後検討していきます。

問 市道認定に要件はあるのか。本市の市道は他に比べ多いと言えるか。

答 面積人口などによる認定要件はなく、総延長は743kmで、全国平均を上回ります。

問 市道を増やすことは地方交付税の算定根拠が増えるので、建設費がかかってもメリットがある。さらに、国策は建設等により地元経済活性化につながることも意図しているのか、本市としても前述の交付金を申請しながら市道整備を行う必要性が高いと考えるが。

答 住民の理解を得ながら、地域経済に及ぼす影響も考慮しつつ、今後検討していきます。

問 私有地を市道として寄付する時の対応は。

答 建築時セットバックの場合は、個人負担で用地確定を行った後、本市において分筆し無償で提供していただきます。

老朽化建物の改修や除却に対する社会資本整備総合交付金の活用について

問 密集市街地等の建物の防災性向上のための改修、除却に対して、同交付金の使い勝手はどうか。

答 整備地区面積や住宅戸数密度に対する老朽化住宅戸数の割合など、一定の要件が必要であり本市での導入は困難と思われる。

また、「住宅・建築物耐震改修事業」では、緊急輸送道路や避難路沿道の建て替え、除却も対象に

なっています。

問 国交省の同交付金では商業地の再開発までは対象外となる。使い勝手の良かった思いやりリフォーム事業も店舗が対象外となるなど、縦割り行政の弊害も感じられる。経産省メニューとの一体性・整合性を国に働きかけるよう市長も努力していただきたいが。

答 難しい面もありますが、本職としても課題に對してしっかりと向き合っています。

問 市長の仕事として、第一に産業振興により税収を増やすことだが、国からの交付金や補助金をいかに引っ張ってくるかが最も重要だと考える。新市長の今後の決意について伺う。

答 本職として最大の仕事と認識していますので、国・県など関係機関に働きかけ、全身全霊で臨んでいきます。



地元企業の育成について

問 マイホーム心配り事業や利子補給制度等地元企業育成策を実施しているが、実績とこのほかに考えている育成策は。

答 マイホーム心配り事業は、定住促進を目的に市内に本店を構える業者により新築した場合（100万円限度）、同じくリフォームした場合（30万円限度）、補助金を出す制度です。平成23～24年度実績で新築17件、1千142万円、リフォーム332件、4千955万円となっております。

次に鴨川市中小企業資金の融資及び利子補給の利用状況は、24年度実績

で92件、融資金額5億5千372万円、利子補給額は602万521円です。そのほかマル経融資（小企業等経営改善資金）への支援として24年度の融資金額6億5千705万円、利子補給額398万2千458円となっております。そのほかの育成策としては、農業・漁業・商工観光の融合として、

鴨川七里や鴨川レモンを活用した新商品の開発や販売ルートの確保など関係団体との一層の連携強化を図っていきたいと考えています。

問 今定例会の補正予算に、市の公共施設の浄化槽清掃委託料が載っているが、許可業者は8社で、その内7社は市内に本店を構え、1社は支店と聞いている。どのような入札の仕方で行うのか。

答 市有施設の浄化槽清掃については、民営化後

も直営で行ってききましたが、職員・車両の削減に伴い民間業者に委託するもので、入札方法は管理する担当課や地域がさまざまであり、浄化槽の形式等も違う事から本市財務規則等に則して各課単位で分割での発注を予定しています。

問 公共施設の浄化槽管理は地元業者の育成と言う事からすれば本店を構える業者に任せるのが妥当だと考えるが。

答 業者選定についてはそういう意見も十分に検討していきます。

街路灯の建て替えについて

問 塩害による老朽化、電気料金の上昇、街路灯の建て替えは待ったなしの状況だと思う。また以前は合併特例債や過疎債も検討していたようだが当局の考えは。

答 一部消灯、間引き等で急場をしのいでいると

いう状況をみますと、協会役員の皆様には大変なご苦労があるものと認識しています。次期建設にあたっては3協会の会議の中で統一したデザインで、LED等省電力使用でシンプルなデザインで合意がなされたと同っています。また、国県補助

金等の活用も検討してきましたが、この場合、市が事業主体にならざるを得ないという事で、将来的に多額の管理費を充当しながら管理運営を担っていかねばならない事を考えますと、各街路灯協会に補助金を交付し、自ら事業展開を図ってもらう事が、継続した自主的な活動に繋がると思っています。

問 事業費と事業計画、更新による全体的なコストダウンは。

答 現在、1千592本立っています、2割程度削減できる



危険なのでアーム部分を取り外した街路灯

と考えており、1基35万円程度、全体で5億円程度を想定しています。事業年度は3協会の地域に分け、4～5年を考えています。コストダウンについては、LEDを使用することで電気代も半分以下で、電球の寿命や維持管理の面でも相当な負担減が見込まれる事から、各街路灯協会への補助金もこれから少なくなっていくものと考えています。



所信表明と施政方針について

問 「具体的なまちづくりの形が見えない」、「鴨川の何を売ろう」としているのか見えてこない」などの声が多いが。

答 市民の皆様の声に耳を傾けながら、人づくりを柱に、10年先20年先を見通した諸施策を推進していきます。先人の築いた鴨川のまちをさらに発展させるために全力投球で取り組んでいきます。

鴨川市情報公開条例について

問 「市政の実態を市民に知らせる機会が多く与えられることにより、市民の自治を理解する目と

批判する目が育て上げられる」これがこの条例制定の理念である。私は、長谷川市長の条例運用に大きな懸念を抱いている。この条例の理念の浸透を全職員に図り、接遇改善、職員教育に努めてほしい。

答 開かれた市役所、ガラス張りの市政の推進は鴨川市の基本的姿勢です。個人情報保護に厳格に対応し、条例に基づく情報の開示には、従来以上に積極的な取り組みをしていきます。「民、信無くんば、立たず」を念頭に真摯に取り組んでいきます。

生活系ゴミ処理施策について

問 千葉県下の指定ゴミ袋製の導入状況について。

答 54団体のうち、52団体が指定ゴミ袋製を採用しています。うち、17団体は袋代のみを市民が負

担し、処理料の負担をしていますが。2つ目の方式は、袋代、処理手数料を含めた価格を市で設定し、小売店に均一価格での販売委託をする方式で、この方法を館山市、南房総市、鋸南町を含めた33団体が採用しています。3つ目の方式は、各小売店が袋代に市の廃棄物処理手数料を加算した形で販売する方法で、小売店ごとに市民が手にする価格が違う、いわゆる不均一価格方式です。これを本市と勝浦市の2団体だけが採用しています。

問 収集用のゴミ袋価格について、鴨川市が安房管内の2市1町より2割ほど高いことをすでに指摘しているが、住民が処理施設に直接搬入する場合の可燃ごみ、粗大ゴミ処理料金、いわゆる持込搬入ゴミの状況について伺う。

答 安房管内の2市1町、館山市、南房総市、鋸南町では、生活系可燃ごみ及び粗大ゴミの持込搬入については一定量を無料としています。鴨川市は、清掃センターへ持込搬入されているすべての可燃ごみ、粗大ごみに対し、料金徴収しています。

問 市長は、鴨川を世界に誇れるまちにするのだとされているが、この狭い安房管内にあって、すでにゴミ問題だけで見劣りしている。近々に消費税の引き上げが予定されている、そんな中、重税感や施策の劣る自治体から人が離れてしまうと思うが。

答 ゴミ処理行政は、市民生活に密着した重要な事業です。提言に対し、出来るだけ早いうちに最良の形で施策が決定できるように協議、検討を進めていきます。

職員定員管理と職員給与減額・処置について

問 職員管理計画の策定

は、財政運営及び管理の観点からも重要であるとしながらも、2年間も先延ばしにしていた。その後、平成24年度中には新たな計画策定をする約束していたが。

答 24年度での約束が実行できませんでした。今年度には新たな計画策定を実施します。

問 今回の職員給与を9カ月間削減する措置の狙いと、鴨川市が例年行う職員給与改定の基準とそ

答 職員給与減額措置は、防災、減災事業及び地域経済活性化等への取り組みを積極的かつ迅速に対応するため、国家公務員の同措置への対応を踏まえて、今回、国から要請されたものであります。これまでの鴨川市職員給与は、原則として千葉県に準じた改定を実施してきました。

定例会議案等議決結果

【市長提出議案】

議案番号	件名	付託先 常任委員会	常任委員会 の審査結果	本会議の 議決結果
議案第31号	鴨川市市長等及び一般職の職員の給与の特例に関する条例の制定について	総務	否決	可決 賛成多数
議案第32号	鴨川市一般職の職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決 全会一致
議案第33号	鴨川市税条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決 全会一致
議案第34号	鴨川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	総務	可決	可決 全会一致
議案第35号	鴨川市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第36号	鴨川市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決 賛成多数
議案第37号	鴨川市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	可決	可決 全会一致
議案第38号	工事請負契約の締結について	文教厚生	可決	可決 賛成多数
議案第39号	市道路線の認定について	建設経済	可決	可決 全会一致
議案第40号	平成25年度鴨川市一般会計補正予算（第2号）	予算	可決	可決 賛成多数
議案第41号	平成25年度鴨川市介護保険特別会計補正予算（第1号）	文教厚生	可決	可決 賛成多数

【議員提出議案】

発議案番号	件名	付託先 常任委員会	常任委員会 の審査結果	本会議の 議決結果
発議案第15号	房総スカイライン有料道路及び鴨川有料道路の早期無料化を求める意見書について	付託省略		可決 全会一致
発議案第16号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について	付託省略		可決 全会一致

【報告】

報告番号	件名	付託先 常任委員会	常任委員会 の審査結果	本会議の 議決結果
報告第1号	平成24年度鴨川市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について			
報告第2号	平成24年度鴨川市水道事業会計予算繰越計算書について			

【陳情】

陳情番号	件名	付託先 常任委員会	常任委員会 の審査結果	本会議の 議決結果
陳情第22号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書	文教厚生	採択	採択 全会一致
陳情第23号	「国における平成26（2014）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書	文教厚生	不採択	不採択 賛成少数

賛否の公表 上表の議案等（全会一致のものを除く）について、議員別に賛否を公表します。 ○・賛成 ×・反対 欠・欠席

	滝原秀和	刈込信道	久保忠一	脇坂保雄	庄司朋代	吉田裕迪	佐藤拓郎	平松健治	鈴木美一	佐藤文秋	野村静雄	尾形喜啓	滝口久夫	渡辺訓秀	渡邊隆俊	辰野利文	飯田哲夫	谷一浩	大和田悟史	西川和広	合計	
																					賛成	反対
議案第31号	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	×	×	○	○	×	×	○	×	12	7
議案第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	○	○	○	18	1
議案第38号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○	○	○	17	2
議案第40号	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	×	13	6
議案第41号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	×	○	×	15	4
陳情第23号	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	—	×	○	×	×	×	○	×	×	×	4	15

※議長（野村静雄）は採決に加わりません。

ぎかい日誌

4月

- 19日 議会運営委員会
安房3市1町議会議長会監査（鋸南町）
安房3市1町議会議長会総会（鋸南町）
- 22日 千葉県市議会議長会定期総会（千葉市）
- 23日 第2回市議会臨時会 ～ 24日
議員全員協議会
- 25日 関東市議会議長会定期総会（甲府市）

5月

- 8日 全国自治体病院経営都市議会協議会理事会（東京都）
全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会（東京都）
- 14日 東関東自動車道館山線建設促進期成同盟会通常総会（千葉市）
- 15日 議会運営委員会協議会
- 16日 千葉県南12市議会議長会総会（木更津市）
- 20日 議員全員協議会
- 22日 全国市議会議長会定期総会（東京都）
- 24日 千葉県南部地区議会道路整備協議会総会（市原市）
- 28日 千葉県自治体病院経営都市議会協議会役員会（千葉市）
千葉県自治体病院経営都市議会協議会総会（千葉市）
- 30日 議会運営委員会

6月

- 3日 第2回市議会定例会 ～ 21日
議員全員協議会
- 14日 道路問題調査特別委員会
- 21日 議会運営委員会
議員全員協議会
- 26日 安房郡市広域市町村圏事務組合全員協議会（南房総市）
安房郡市広域市町村圏事務組合議会臨時会（南房総市）

市議会を見る

次の定例会は
9月2日(月)

開会予定です

市役所



議場にて

しっかりと

1番のおススメは、議場の傍聴席。団体・グループでの傍聴もできます。また、議場にて議案等の貸し出しを行っています。

市役所



ティールームかもめにて

気軽に

飲み物の自動販売機が設置されていますので、お友達と気軽にどうぞ。モニターで生中継。

身近に

ご家庭や公民館で

ご自宅のパソコンで、議会審議の様子が映像でご覧になれます。

鴨川市議会

検索

会議録の閲覧

過去の会議録は、市議会ホームページや図書館、公民館でご覧ください。

平成25年第2回定例会の会議録は、8月下旬頃掲載予定です。

平成25年2月から、本会議の録画中継を開始しました。

お問合せは議会事務局まで。

電話 04-7093-7825

FAX 04-7093-7848

編

集

後

記

毎年、第2回定例会は梅雨の最中です。今回は長谷川孝夫新市長が就任し、初めての定例会でありました。緊張の中にも19日間の会期が終了しました。予算も確定し、いよいよ平成25年度の事業が本格的に始まります。順調に進んでほしいものです。

国では参議院選挙が行なわれ、今後の国政がどうなるか関心もたれるところでもあります。地方行政は、まだまだ国政による変動が激しいからです。国民、市民が安心、安全に暮らせる事を、誰もが望むところだと思います。

